

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースピアノ・キーボード専攻											
専攻実技4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	杉本 清隆			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
合同卒業展においてビジネススペースでのデモ作品が発表できることを想定し、作品制作関連授業とビジネス関連授業と連動しながら、講師によるプロデュース・メンタリングを重視した実技授業を行う。主にアレンジやミックス、マスタリングスキルを更に発展させ、オリジナリティーの追求とビジネススペースでの制作発表活動についての考察を深め、社会人までの道筋を具現化してゆく。											
到達目標											
「卒業制作」を作るスキルを体得することを到達目標とするが、4種の発表方法（ビジネスプランおよびデモ作品、Real Dreams 2023、共同研究成果、作品）のいずれかで、課題を学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを提示し、目標を達成していく。経済的基盤または社会的基盤における再現性・継続性が見込めるということが最上位目標となる。											
授業方法											
授業は一人一台キーボードを使用して行います。各テーマに沿った課題のレクチャー、練習、アドバイスをし、個別最適化された課題を発見します。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント、講師作成リードシート											
回数	授業計画										
第1回	マイプロジェクトに合わせた授業（アンサンブルにおいて留意する点の考察）										
第2回	マイプロジェクトに合わせた授業（スムーズにアンサンブル演奏をアップグレードしていく為に必要な点を学ぶ）										
第3回	マイプロジェクトに合わせた授業（アイコンタクトを取る為出来るだけ手元を見ずに演奏出来るようにする その1）										

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースピアノ・キーボード専攻	
専攻実技4	
第4回	マイプロジェクトに合わせた授業（アイコンタクトを取る為出来るだけ手元を見ずに演奏出来るようにする その2）
第5回	マイプロジェクトに合わせた授業（他楽器のアプローチに合わせた演奏の考察 その1）
第6回	マイプロジェクトに合わせた授業（他楽器のアプローチに合わせた演奏の考察 その2）
第7回	マイプロジェクトに基づき中間発表を行う その1
第8回	マイプロジェクトに基づき中間発表を行う その2
第9回	マイプロジェクトに合わせた授業（パフォーマンスについての考察）
第10回	マイプロジェクトに合わせた授業（衣装についての考察）
第11回	マイプロジェクトに合わせた授業（出来る限り暗譜をし演奏出来る その1）
第12回	マイプロジェクトに合わせた授業（出来る限り暗譜をし演奏出来る その2）
第13回	マイプロジェクトに合わせた授業（出来る限り暗譜をし演奏出来る その3）
第14回	まとめ 1
第15回	まとめ 2

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースギター専攻											
専攻実技4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	恒枝賢治			実務 経験	有	職種	ミュージシャン、プロデューサー、レコーディングエンジニア、音源制作				
授業概要											
合同卒業展において、ビジネスベースでのデモ作品が発表できることを想定し、作品制作関連授業、ビジネス関連授業と連動しながら、講師によるプロデュース、メンタリングを重視した実技授業とする。具体的には、学生のオリジナリティーを活かした演奏動画コンテンツの制作を目指し、そのための演奏スキル、理論的アプローチ方法を体得し、実演家としてのキャラクターの確立によるセルフブランディングを実践をする。											
到達目標											
「卒業制作」を作るスキルを体得することを到達目標とするが、4種の発表方法（ビジネスプランおよびデモ作品、Real Dreams 2023、共同研究成果、作品）のいずれかで、課題を学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを提示し、目標を達成していく。経済的基盤または社会的基盤における再現性・継続性が見込めるということが最上位目標となる。											
授業方法											
基本は少数人数での個人レッスン形式で、全体ディスカッションも適宜採用し、基礎的必須技術を発展させ、表現力のある演奏の習得を中心に進行する。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
譜面、音源、映像等適宜用意。ギター、チューナー、シールド、ピック等の楽器や必需品を各自用意。㊦ポタストと替えの弦は必ずギターケースに入れておくこと。											
回数	授業計画										
第1回	前期復習。										
第2回	指板上のインターバルを理解する。テンションコードの押さえ方										
第3回	ジャズやボサノヴァ系の演奏										

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースギター専攻	
専攻実技4	
第4回	ルートを省いたコード演奏
第5回	大音量でのフィードバック奏法と宅録時での再現について
第6回	作品制作1曲目その1。アドバイスと技術説明。☒作品：ギター練習に特化したものか、曲としての物かは各個人の思考やレベルに寄る。
第7回	1曲目その2。
第8回	作品制作2曲目その1。アドバイスと技術説明。
第9回	2曲目その2。
第10回	作品制作3曲目その1。アドバイスと技術説明。
第11回	3曲目その2。
第12回	作品制作4曲目その1。アドバイスと技術説明。
第13回	4曲目その2。
第14回	発表とデモンストレーション演奏。曲の解説
第15回	総括2。今までの作品と技術の確認。

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースベース専攻	
専攻実技4	
第4回	難易度の高いスケール（hmp5↓、オルタード等）の習得。
第5回	ジャズ系コード進行のリードシートからベースラインを作る、その1。ルートを中心としたアプローチ。
第6回	ジャズ系コード進行のリードシートからベースラインを作る、その2。スケールを活用したアプローチ。
第7回	授業内理解度チェック。
第8回	自作曲または課題曲のベースラインのブラッシュアップその3。
第9回	自作曲または課題曲のベースラインのブラッシュアップその4。
第10回	循環コードにおけるアドリブ演奏によるベースソロ。
第11回	レコーディング実習その1。奏法の違いによるアプローチ。
第12回	レコーディング実習その2。ニュアンスを重視したアプローチ。
第13回	レコーディング実習における各自の問題点の修正。
第14回	授業内発表。
第15回	後期のまとめ。

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースドラム専攻											
専攻実技4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	杉本 清隆			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
合同卒業展においてビジネススペースでのデモ作品が発表できることを想定し、作品制作関連授業とビジネス関連授業と連動しながら、講師によるプロデュース・メンタリングを重視した実技授業を行う。主にアレンジやミックス、マスタリングスキルを更に発展させ、オリジナリティーの追求とビジネススペースでの制作発表活動についての考察を深め、社会人までの道筋を具現化してゆく。											
到達目標											
「卒業制作」を作るスキルを体得することを到達目標とするが、4種の発表方法（ビジネスプランおよびデモ作品、Real Dreams 2023、共同研究成果、作品）のいずれかで、課題を学生と共に検討し、個別最適化されたフィードバックを提示し、目標を達成していく。経済的基盤または社会的基盤における再現性・継続性が見込めるということが最上位目標となる。											
授業方法											
授業は練習パッド、ドラムセットを使用して行います。各テーマに沿った課題のレクチャー、練習、アドバイスをし、個別最適化された課題を発見します。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布プリント、講師作成リードシート、ドラムスティックは各自で用意すること											
回数	授業計画										
第1回	ヒヤリングし疑問点の解消と各自目標設定とスケジュールの確立										
第2回	初見譜面で演奏をする										
第3回	初見譜面で演奏をする その2										

2023年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースドラム専攻	
専攻実技4	
第4回	曲のストーリーをドラムアレンジで考える
第5回	同機機材の紹介、同機演奏実習
第6回	いろいろなビートやクリックに合わせて演奏する
第7回	オリジナル作品をマイナスインで演奏する
第8回	中間発表 理解度チェック
第9回	ドラムソロ曲紹介と演奏
第10回	ドラムソロの作り方
第11回	曲に合わせてドラムソロを演奏する
第12回	ドラムが主役のオリジナル曲をマイナスインで演奏する
第13回	レコーディングに向けての準備機材紹介
第14回	レコーディング 発表 撮影し世界へ向けて発表できる素材を作る
第15回	後期まとめ